

開局から20余年を経て、テレビ局の公開スタジオが照明システムを一新。
ネットワーク調光卓「プレジャーΣ」を核にした照明システムを採用いただきました。

長崎文化放送
ncc&スタジオ

リニューアル

調光システム納入レポート 〈スタジオ〉

●ネットワーク調光卓「プレジャーΣ」 ●インテリジェント調光装置



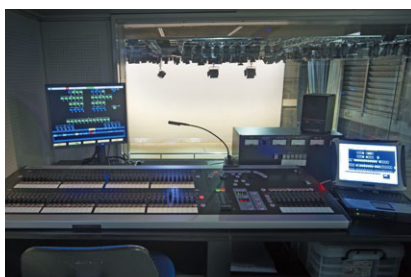
■概要
 施主/長崎文化放送株式会社 様
 名称/ncc&スタジオ
 所在地/長崎県長崎市
 照明設備工事/緑屋電気株式会社 様
 パナソニックESエンジニアリング(株)
 竣工/2011年7月

■施設概要
 面積/100.8坪
 客席数/498席

■納入機器
 ネットワーク調光卓「プレジャーΣ」
 インテリジェント調光装置
 多回路エネルギーモニター(調光盤内蔵)
 昇降設備(トラス・トーンLEDダウンライト内蔵)
 スタジオ照明器具

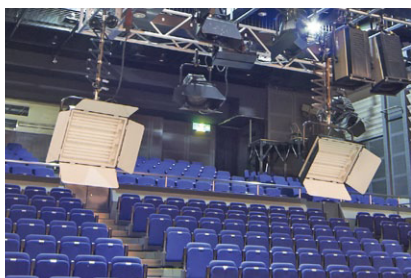
長崎県で3番目の民放テレビ局として開局し、2010年に開局20周年を迎えた長崎文化放送。このほど、同局の公開番組の収録や様々なイベントが催されるテレビスタジオ兼多目的ホール「ncc&スタジオ」において、スタジオ設備のリニューアルが行われました。照明システムの核として選ばれたのは、最先端の照明演出を実現する先進機能と、モバイルPCによるパッチ・レベル設定・データ管理を可能にしたネットワーク調光卓「プレジャーΣ」でした。また、ボタンには昇降トラスを導入し、発熱の少ない蛍光灯フラッドライトを配置するなど、操作性・運用性を高め、省力化とスタジオ稼働率の向上を実現しました。さらに、客席ダウンライトのLED化によって消費電力を大幅削減し、自動計測による消費電力の“見える化”も実施。これからのスタジオ運営に大きく貢献する照明システムとして高い評価をいただいています。

PCやネットワークと接続して新しい操作環境を創出。 ネットワーク調光操作卓「プレジャーΣ」



- PCで「パッチ」「レベル設定」の仕込みが可能。
 ■舞台配置を見ながら負荷とチャンネル番号をクリックするだけの簡単なマウス操作でパッチを実現。
 ■マウスのホイールでレベルのアップ/ダウンが可能。操作卓の出力レベルをモニタリングし、グラフィカルに表示。
- 調光室の外でも仕込みができるモバイル操作環境を実現。
- ジョグダイヤル方式でテンキーレス操作。
- 暗所での操作性を高めるイルミネーションボタン。

白熱灯調光回路で調光可能な蛍光灯フラッドライト。 「蛍光灯フラッドライト(位相制御調光タイプ)」



- 白熱灯調光回路で調光可能。
- ハロゲン電球の40%の消費電力で同等の光束を実現。
- 7500時間の長寿命ランプ。
- 時間当たりの発熱量は1/3、赤外線量は1/2に低減。
- 高周波電子安定器により蛍光灯のチャタリング音をカット。

昇降トラスと客席のLED照明

■調光装置 (インテリジェント調光装置)	
主幹盤	照明電源 3φ4W 182V/105V 60Hz 入力主幹 MCCB 4P 600AF/600AT
調光回路	IL 100V 20A ×100回路 IL 100V 30A ×12回路 PD 100V 16A ×5回路
音回路	100V MCCB 2P 50AF/30AT×18回路

■記憶調光操作卓(プレジャーΣ2)	
制御回路数	1024回路
制御チャンネル数	1024ch
プリセットフェーダ	40本×2段
スフェータ(サブマスタ)	10本×50ページ
記憶シーン数	1000シーン以上/場面
パート機能	最大5パート
エフェクト	100ステップ×100/ターン(最大1000ステップ)
エフェクト同時再生機能	最大5/ターン
ネットワークPC	モバイルPC:タフブック(Windows XP)×1台
表示装置	17型TFカラー液晶ディスプレイ×1台

■バックアップシーン再生操作器	
バックアップシーン操作	記憶押紐/シーン再生押紐(5個)/客電押紐

■客電シーン再生操作器	
バックアップシーン操作	記憶押紐/客電押紐